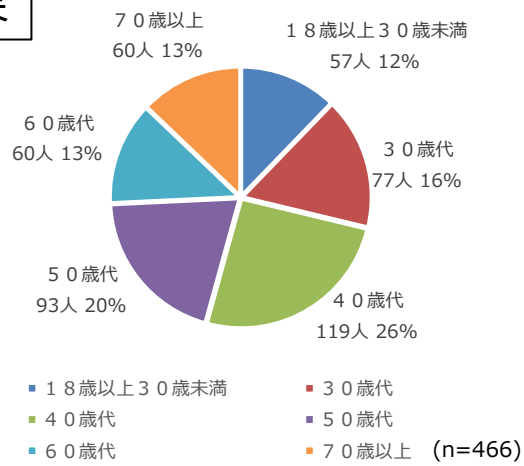
関連資料6

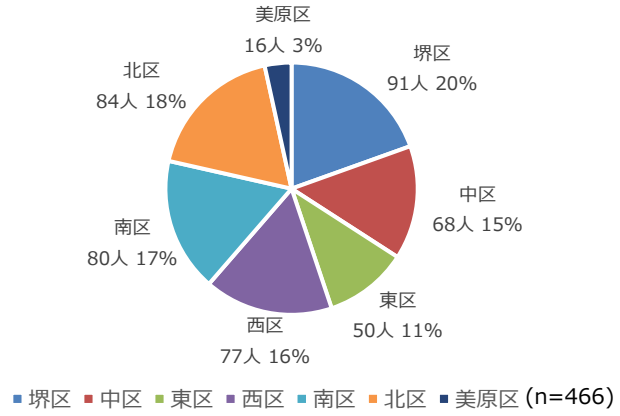
堺市市政モニターアンケート

堺市市政モニターアンケート

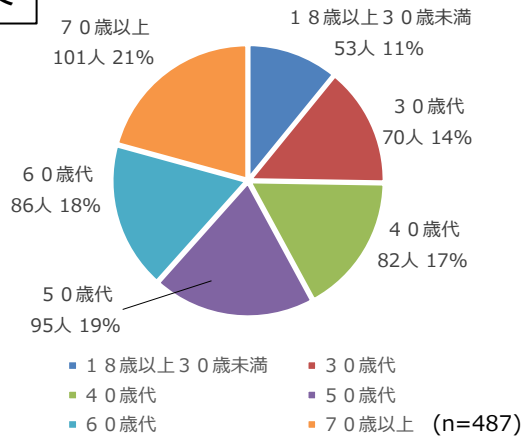
調査期間		令和6年8月1日（木）～令和6年8月14日（水）
調査方法	対象	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方で公募による市政モニター
	人数	500人（男性215人、女性285人）
	調査方法	インターネットを通じたアンケート回答
	回収率	調査対象者500人に対して、有効回収数487人、回収率97.4%

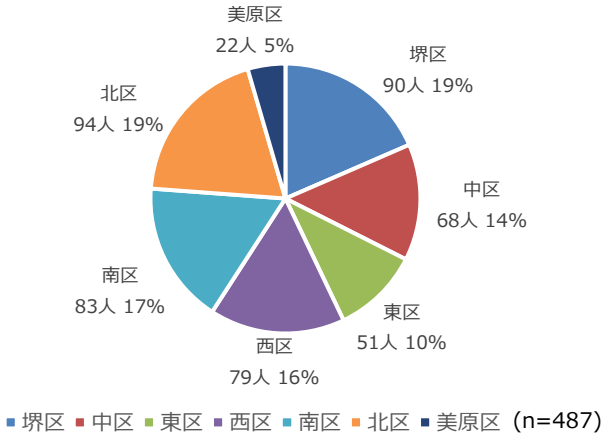
令和4年度　結果





令和6年度　結果

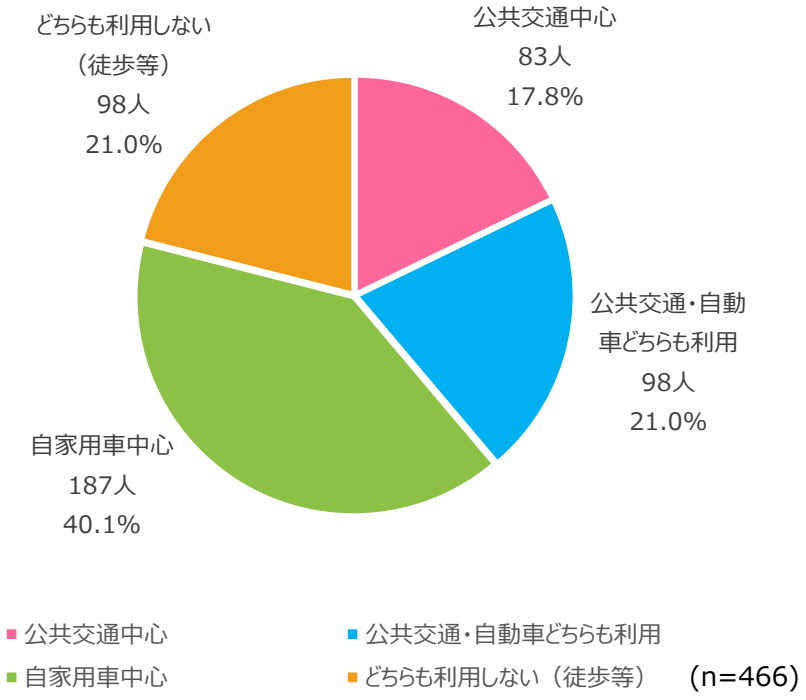




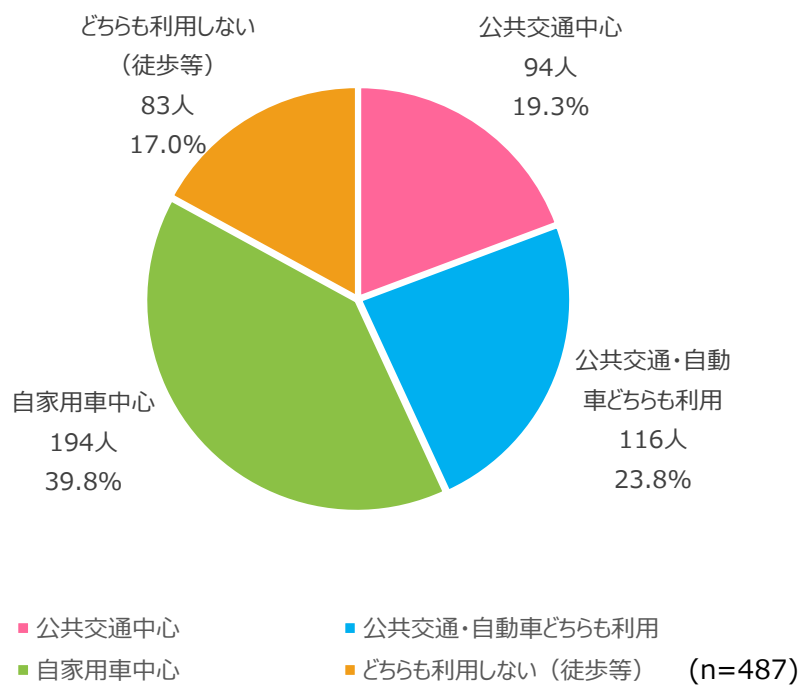
堺市市政モニターアンケート

■公共交通及び自動車の利用頻度からの分類

令和4年度　結果



令和6年度　結果

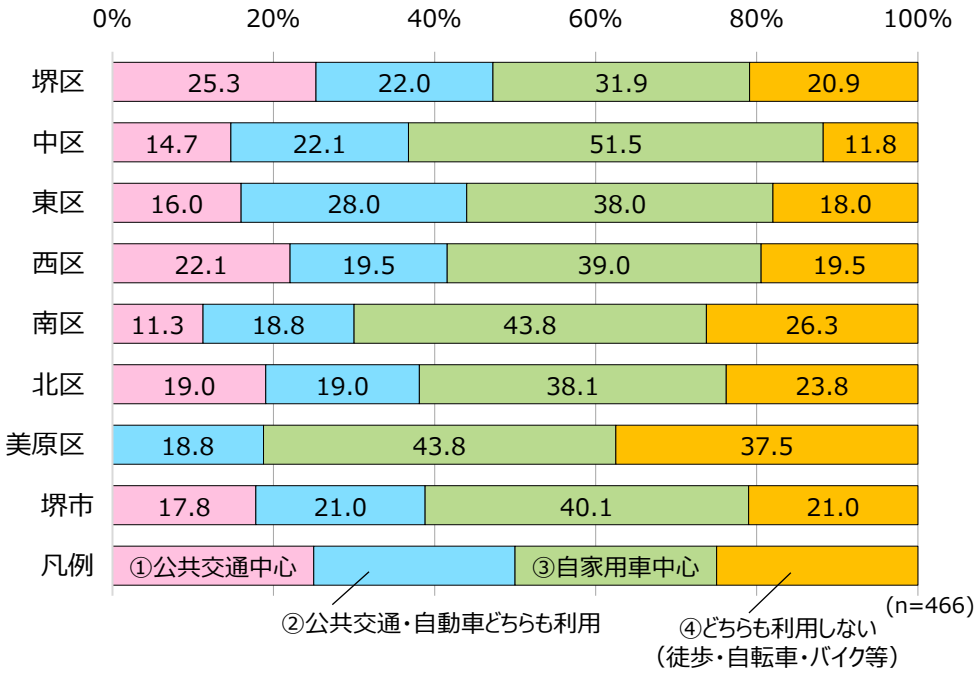


- 公共交通の利用頻度について、公共交通中心と公共交通・自動車どちらも利用（いずれも公共交通を週1～2日以上利用している人）の割合は、38.8%（令和4年度）、43.1%（令和6年度）である。

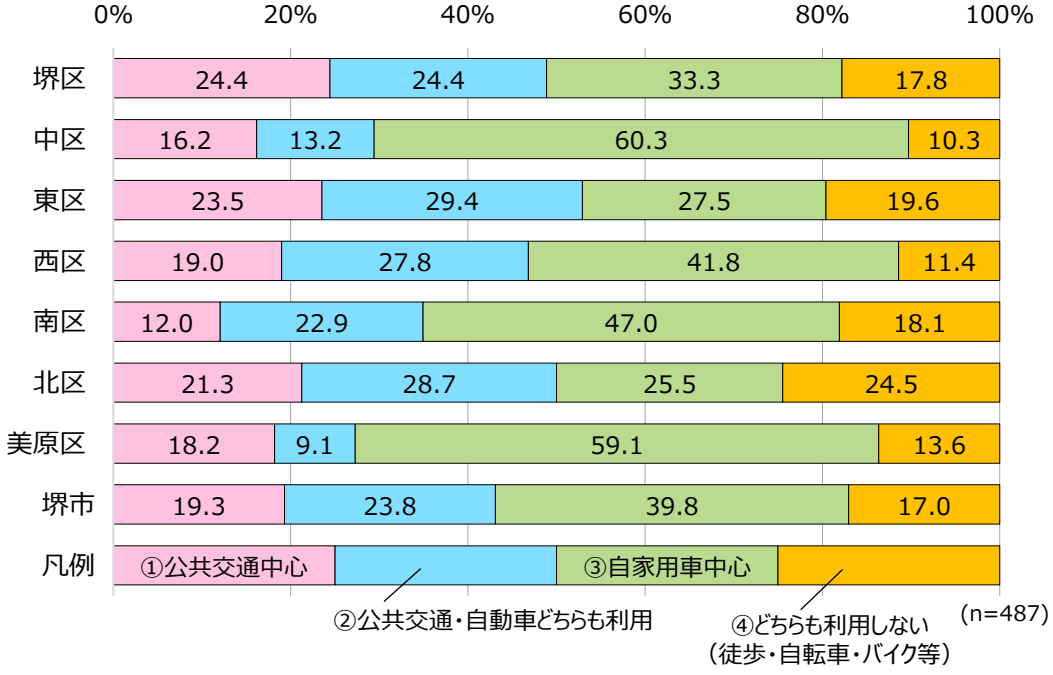
堺市市政モニターアンケート

■公共交通の利用状況（区別公共交通の利用割合）

令和4年度　結果



令和6年度　結果

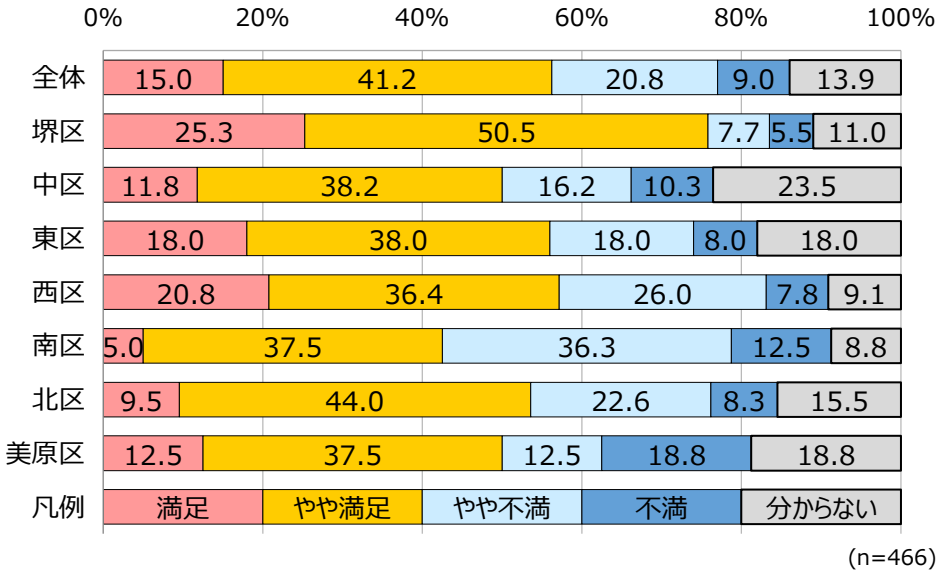


- 令和6年度の「③自家用車中心」の割合は、どの区も25%以上で中区が最も高い状況である。
- 令和6年度の「④どちらも利用しない（徒歩・自転車・バイク等）」の割合は、北区が24.5%、東区が19.6%、南区が18.1%、堺区が17.8%と堺市全体の17.0%より高い状況である。

堺市市政モニターアンケート

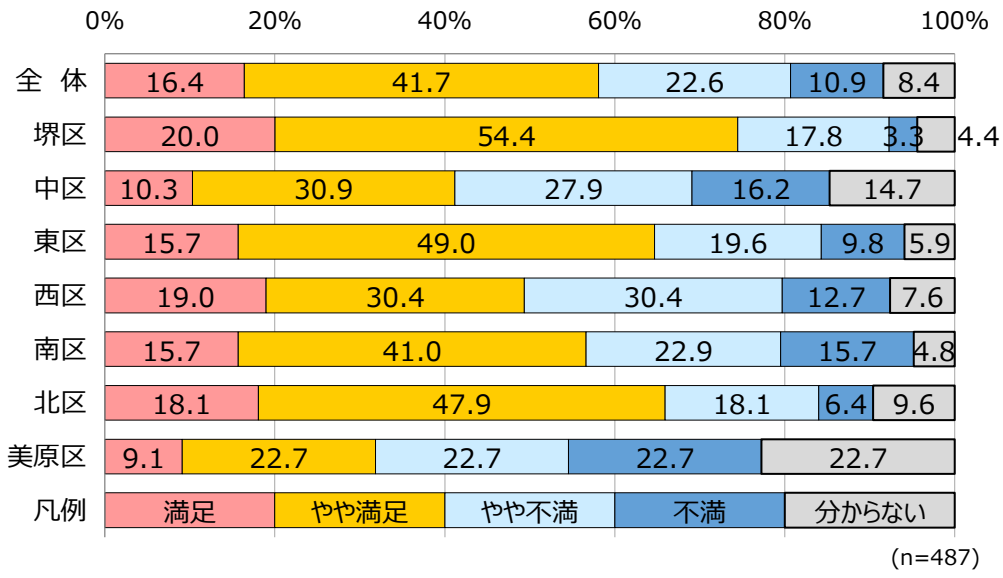
■公共交通の満足度（公共交通全体の居住区別満足度）

令和4年度　結果



(n=466)

令和6年度　結果



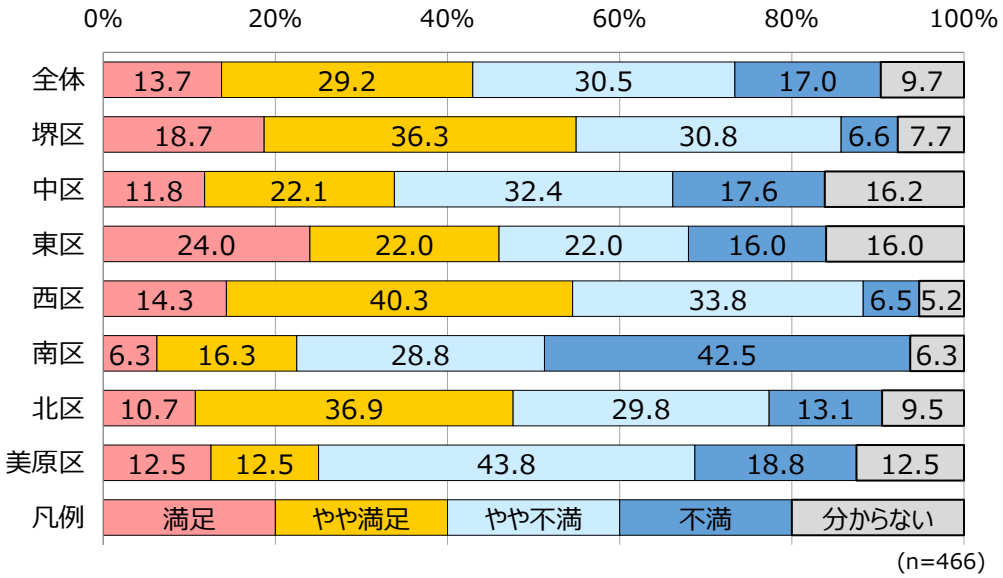
(n=487)

- 公共交通全体の満足度は、「満足」「やや満足」を合わせると56.2%（令和4年度）、58.1%（令和6年度）、「やや不満」「不満」を合わせると29.8%（令和4年度）、33.5%（令和6年度）である。
- 居住区別にみると、令和6年度は堺区の満足度が最も高く、美原区が低い状況である。

堺市市政モニターアンケート

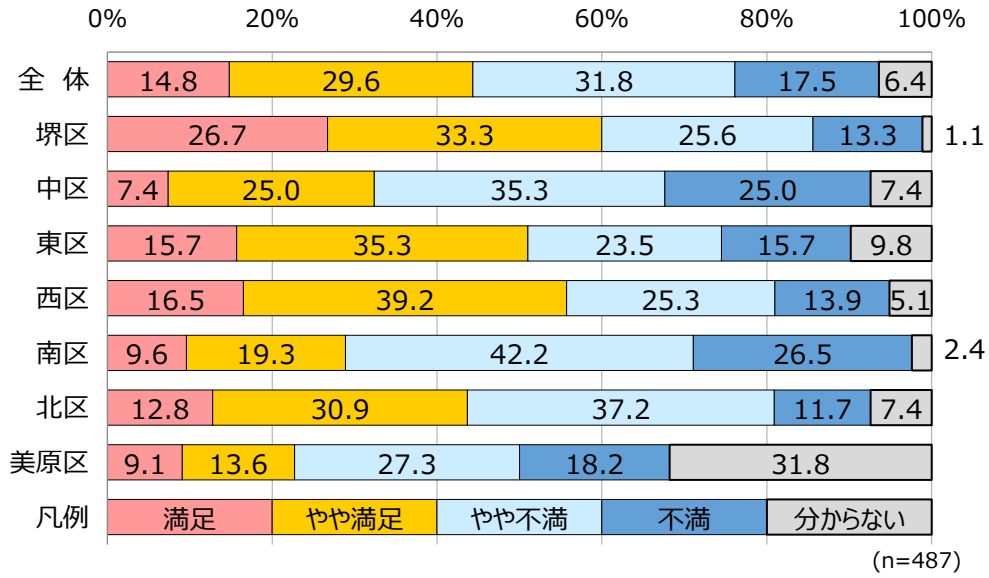
■公共交通の満足度（運賃・料金に対する居住区別満足度）

令和4年度　結果



(n=466)

令和6年度　結果



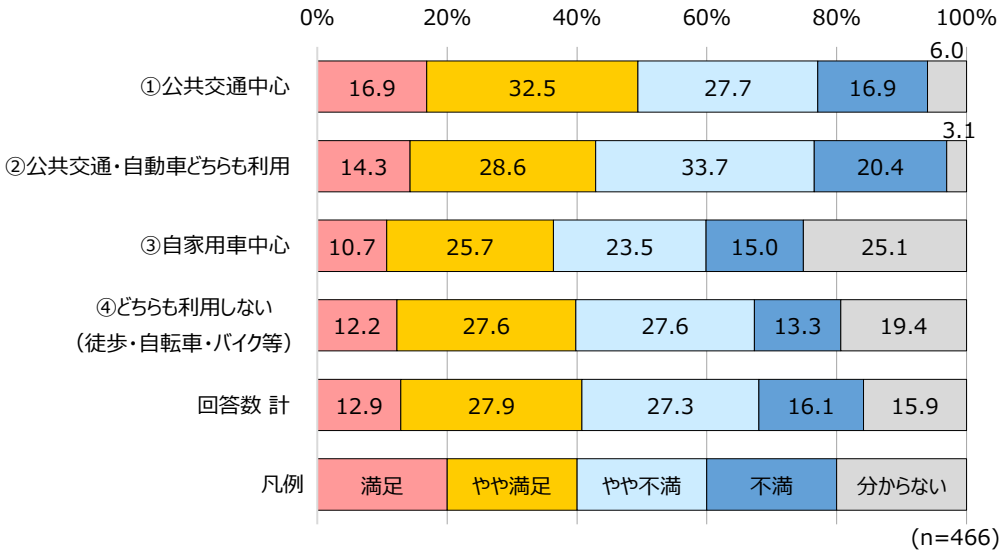
(n=487)

- 運賃・料金の満足度は、「満足」「やや満足」を合わせると42.9%（令和4年度）、44.4%（令和6年度）、「やや不満」「不満」を合わせると47.5%（令和4年度）、49.3%（令和6年度）である。
- 居住区別でみると、令和6年度は中区、南区、美原区が低く、特に美原区が著しく低い状況である。

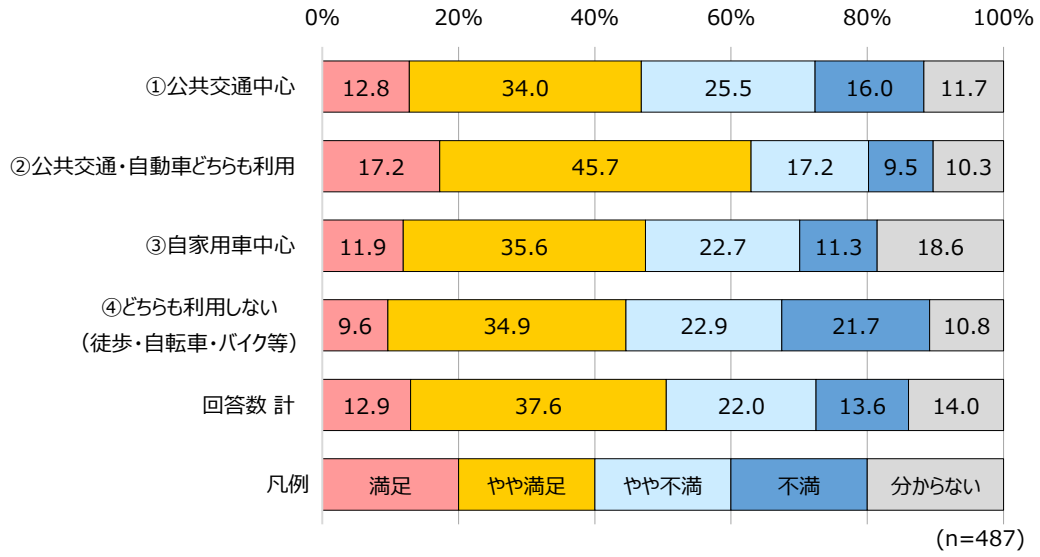
堺市市政モニターアンケート

■公共交通の満足度（公共交通利用別の乗継環境等の満足度）

令和4年度　結果



令和6年度　結果

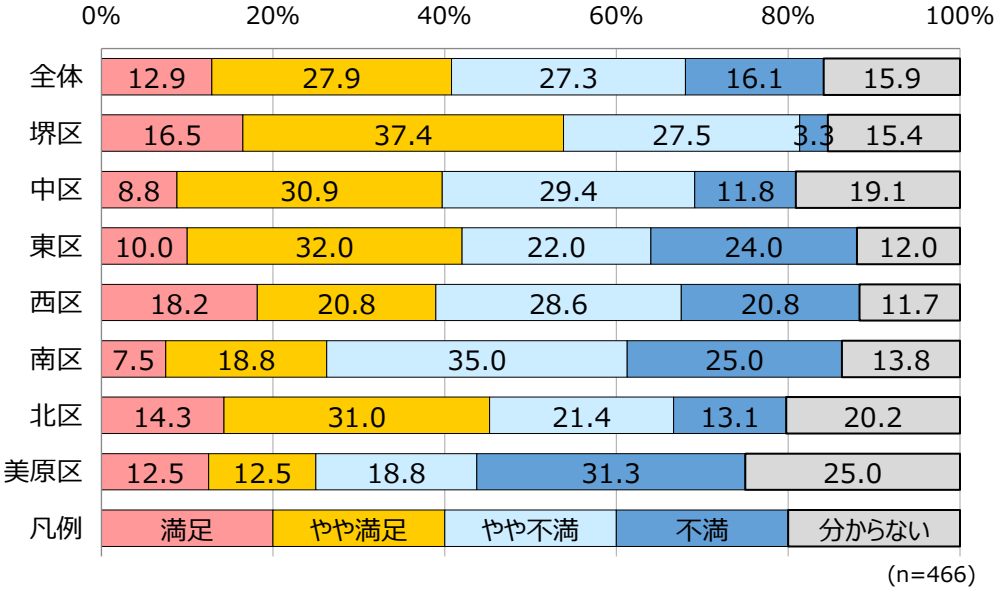


- 令和6年度の「①公共交通中心」では、「やや不満」「不満」を合わせると41.5%と高い状況である。
- 令和6年度の「②公共交通・自動車どちらも利用」では、「やや不満」「不満」を合わせると26.7%と「①公共交通中心」に比べ低い状況である。

堺市市政モニターアンケート

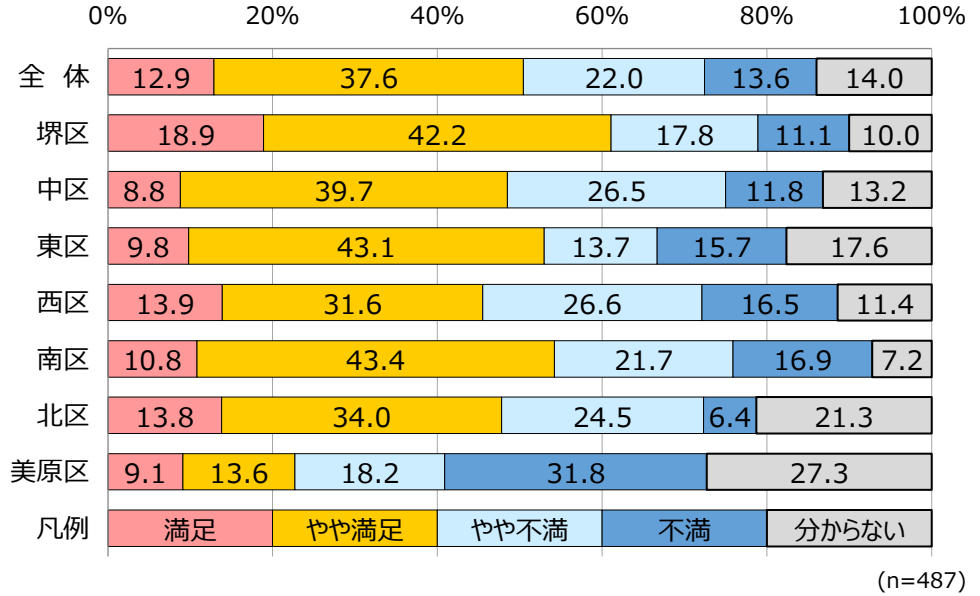
■公共交通の満足度（居住区別の乗継環境等の満足度）

令和4年度　結果



(n=466)

令和6年度　結果



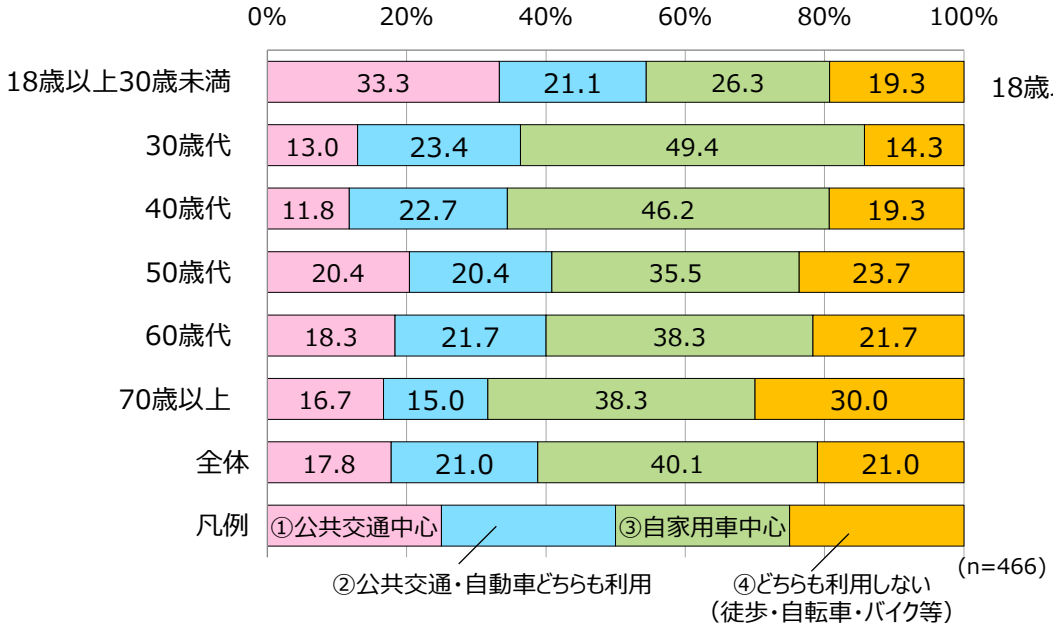
(n=487)

- 居住区別でみると、令和6年度は「満足」「やや満足」を合わせると堺区が61.1%、南区が54.2%、東区が52.9%と高く、美原区は22.7%と低い状況である。
- 「やや不満」「不満」を合わせると美原区が50.0%と最も高い状況である。

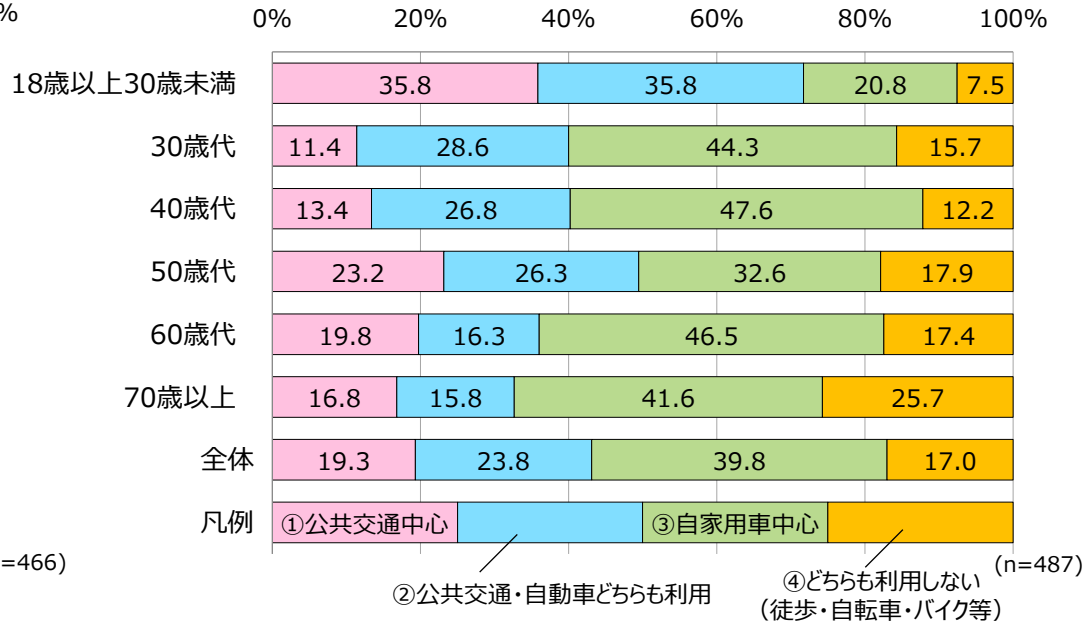
堺市市政モニターアンケート

■年齢別の公共交通・自動車の利用頻度

令和4年度　結果



令和6年度　結果

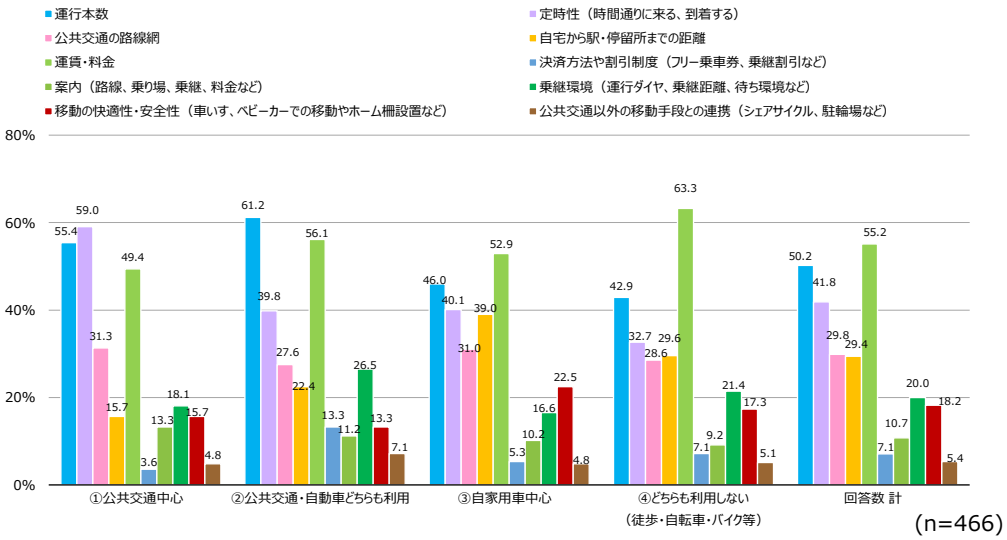


- 令和6年度の「③自家用車中心」の割合は、18歳以上30歳未満が20.8%と最も低く、次いで50歳代が32.6%と低い状況である。
- 令和6年度の「④どちらも利用しない（徒歩・自転車・バイク等）」の割合は、70歳以上が25.7%と最も高く、18歳以上30歳未満が7.5%と最も低い状況である。

堺市市政モニターアンケート

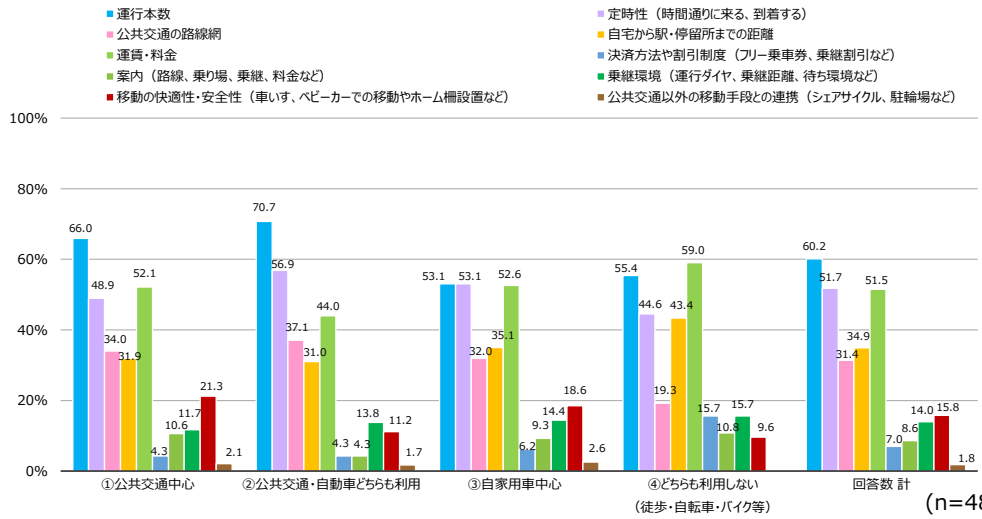
■公共交通を利用するうえで特に重要と思うもの

令和4年度　結果



(n=466)

令和6年度　結果



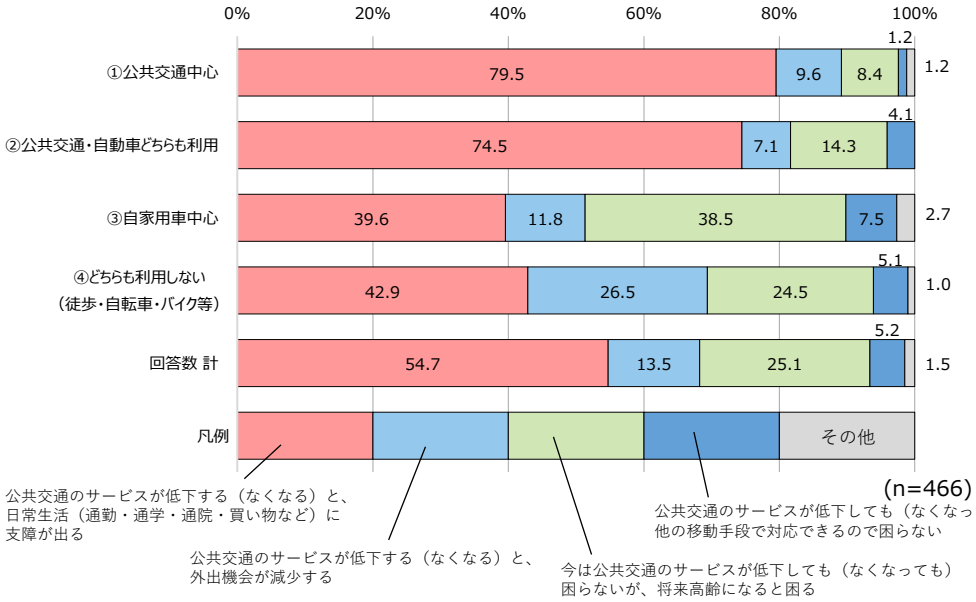
(n=487)

- 令和6年度の回答者全体では、「運行本数」、「定時制（時間通りに来る、到着する）」、「運賃・料金」を重要と思う割合が高い状況である。
- 令和6年度の「①公共交通中心」と「②公共交通・自動車どちらも利用」では、回答者全体よりも「運行本数」を重要と思う割合が高い状況である。

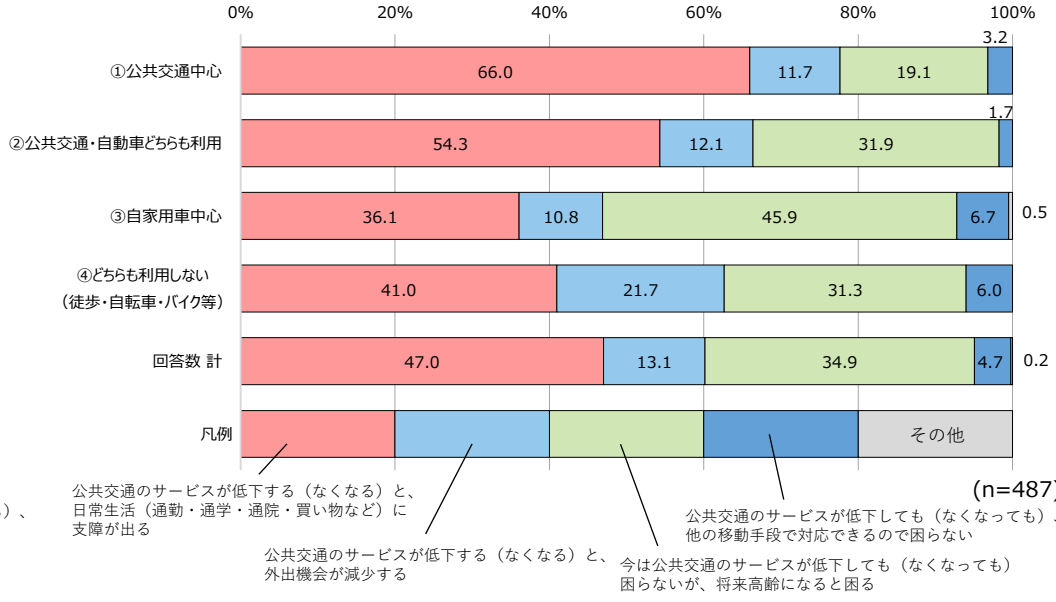
堺市市政モニターアンケート

■公共交通の維持・確保の意向など（公共交通の必要性について）

令和4年度　結果



令和6年度　結果

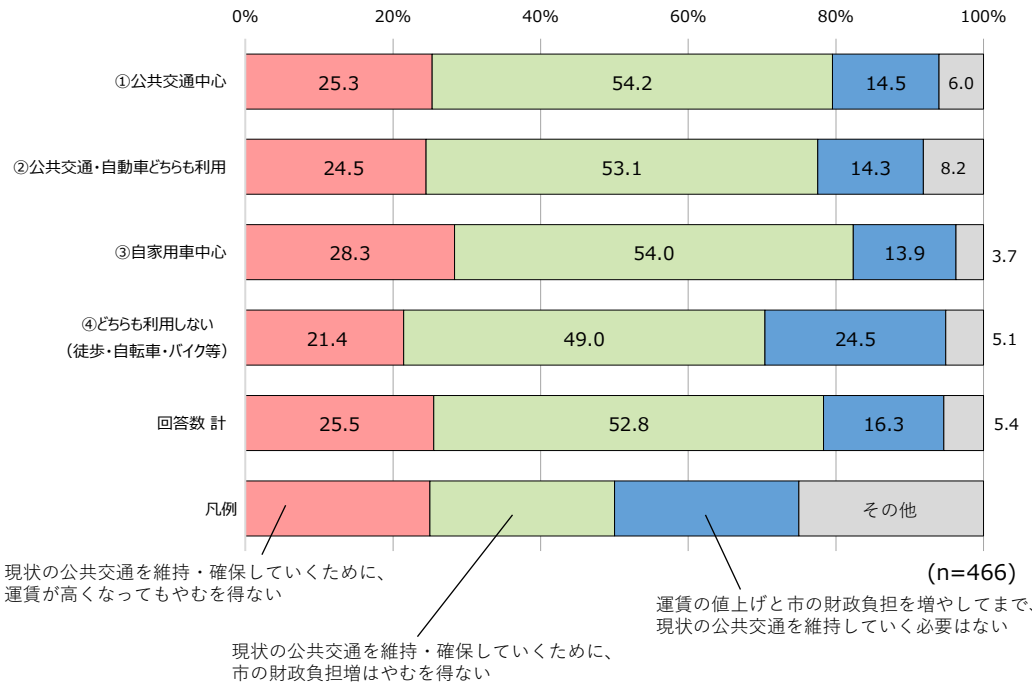


- 令和6年度の「③自家用車中心」「④どちらも利用しない」であっても、「将来高齢になると困る」と感じている方まで含めると、ほとんどの方が公共交通を必要としており、「他の移動手段で対応できるので困らない」の割合は低い状況である。

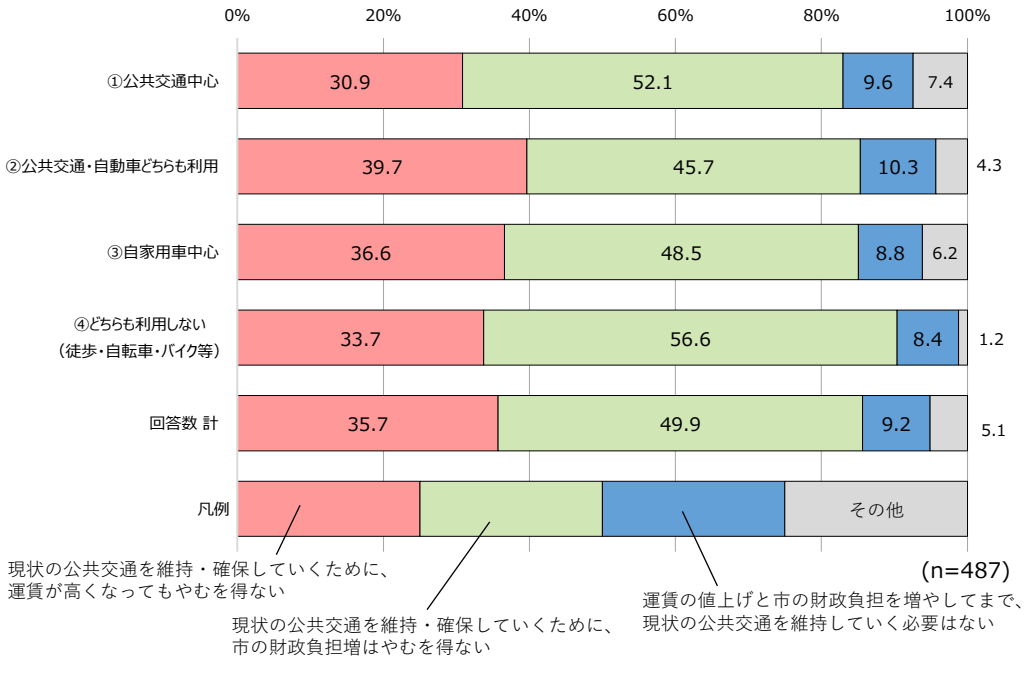
堺市市政モニターアンケート

■公共交通の維持・確保の意向など（公共交通の維持・確保について）

令和4年度　結果



令和6年度　結果



- 令和6年度の「現状の公共交通を維持・確保するために、運賃が高くなってもやむを得ない」「現状の公共交通を維持・確保するために、市の財政負担増はやむを得ない」は85.6%と大半を占めており、市、もしくは利用者の負担が増えても公共交通の維持・確保が必要と認識されている。